



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 本州化学工業株式会社
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 良幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和智 達也
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3272-1482
 平成25年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,792	0.3	769	96.6	730	89.4	427	145.9
25年3月期第2四半期	7,769	△8.6	391	△62.5	385	△62.5	173	△71.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 733百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 22百万円 (△95.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	37.21	—
25年3月期第2四半期	15.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	23,276		14,279	55.1			1,116.40	
25年3月期	19,861		13,660	62.2			1,076.57	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,815百万円 25年3月期 12,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	17,900	15.7	1,400	92.9	1,350	89.1	750	117.9	65.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,500,000 株	25年3月期	11,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	20,636 株	25年3月期	19,442 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,479,504 株	25年3月期2Q	11,481,444 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新興国経済の成長鈍化や欧州の財政問題など海外経済の下振れ懸念があったものの、わが国経済は、政府の経済政策や金融政策に対する期待感から、円高の是正や株価の上昇が進行し、緩やかながらも景気回復基調で推移しました。

しかしながら、当社グループにおきましては、原材料価格の高騰により収益が圧迫されるとともに、当社主力製品と関連のあるIT関連機器・デジタル家電分野において薄型テレビやパソコン等の需要が依然として低調のまま推移するなど、引き続き厳しい事業環境のもとに置かれました。

このような状況のなかで、当社グループは、収益の改善と向上を図るため、既存コア製品の拡販と新規製品の開発促進・市場投入の早期化に注力するとともに、和歌山工場の基盤強化を始めとした経営全般にわたるコスト競争力の強化に全力を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、7,792百万円（前年同四半期比0.3%増）となり、営業利益は769百万円（同96.6%増）、経常利益は730百万円（同89.4%増）、四半期純利益は427百万円（同145.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出されております。

当第2四半期においては、需要の低迷により販売数量が前年同四半期に比べ若干減少したものの、原料価格の値上がりや為替変動の影響等により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・その他のクレゾール誘導品

前年同四半期においては、三井化学株式会社の爆発・火災事故によりクレゾール誘導品の主原料であるメタバラクレゾールの供給が停止したことに伴い、当社ユーザーからの在庫確保を目的とした出荷要請にこたえるべく、メタクレゾールや精製BHT等の在庫放出を含め高水準の出荷を行ったことから、前年同四半期における販売数量は例年に比べ大幅に増加しました。また、当第2四半期においては、これらの製品の需要が低迷し販売が不調であったため、当第2四半期における「その他のクレゾール誘導品」全体の売上高は、上記の特殊要因により大幅に販売数量が増加した前年同四半期を大きく下回ることとなりました。

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

前年同四半期においては、ユーザーサイドでの大幅な生産・在庫調整により需要が大きく減退しましたが、当第2四半期においては、本格的な需要回復には至らないまでも、前年同四半期にみられた大幅な生産・在庫調整が行われなかったことから、販売数量が増加し、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や粉体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

当第2四半期においては、土木・建設材料用途向けの需要が概ね堅調であった一方、積層板等の電子材料向け用途において需要が伸び悩んだため、販売数量は若干減少しましたが、原料価格の値上がりにより販売価格が上昇したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、化学品セグメントの当第2四半期における売上高は3,250百万円（前年同四半期比5.5%減）、総売上高に占める割合は41.7%となり、セグメント利益は72百万円（前年同四半期はセグメント損失116百万円）となりました。

<機能材料>

・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

フォトレジストの需要先であるIT関連機器やデジタル家電分野では、薄型テレビやパソコン等の需要が当第2四半期においても依然として低調のまま推移したことから、当社のフォトレジスト材料は、半導体用及びLCD用のいずれも販売数量が減少し、売上高は前年同四半期を下回りました。

・感光性ポリイミド材料

感光性ポリイミド材料は、半導体素子の表面保護膜に使用される感光性ポリイミド樹脂向けの材料であり、従来品の添加剤のほかに、新規用途向けとして開発した感光性ポリイミド樹脂用原料は、ユーザーのニーズに応えた高付加価値商品として、今後の需要拡大がおおいに期待されております。

当第2四半期における感光性ポリイミド材料（添加剤向け）の販売は、世代交代の影響により引き続き低調のまま推移したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

特殊ビスフェノールの需要は、引き続き光学部品用途向けを中心に堅調に推移したため、当第2四半期の売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの当第2四半期における売上高は、1,627百万円（同6.1%減）、総売上高に占める割合は20.9%となり、セグメント利益は327百万円（同19.0%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車用部品向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のHi-Bis GmbH（ハイビス社）において製造販売されており、当第2四半期においては、引き続き需要が堅調に推移するとともに、為替変動の影響により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・受託品

当第2四半期の売上高は、受託数量が減少したため、前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料セグメントの当第2四半期における売上高は、2,840百万円（同12.3%増）、総売上高に占める割合は36.4%となり、セグメント利益は655百万円（同112.2%増）となりました。

<その他部門>

販売用役（蒸気）等のその他部門の売上高は74百万円（同11.2%増）、総売上高に占める割合は1.0%となり、セグメント利益は21百万円（同50.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,415百万円増加し、23,276百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加（817百万円）、売掛金の減少（△273百万円）、商品及び製品の増加（1,045百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,639百万円増加し、11,647百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少（△446百万円）、建設仮勘定の増加（2,245百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,775百万円増加し、11,629百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（473百万円）、未払法人税等の増加（214百万円）、長期借入金の増加（1,610百万円）等により、前連結会計年度末と比べて2,796百万円増加し、8,997百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（312百万円）、為替換算調整勘定の増加（145百万円）等により、前連結会計年度末に比べ618百万円増加し、14,279百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.1%となり、前連結会計年度末に比べて7.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表しました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,090	2,907
売掛金	3,986	3,712
商品及び製品	2,595	3,641
仕掛品	289	336
原材料及び貯蔵品	619	633
その他	427	416
流動資産合計	10,008	11,647
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	4,539	4,092
建設仮勘定	2,442	4,687
その他（純額）	2,177	2,172
有形固定資産合計	9,159	10,952
無形固定資産	14	5
投資その他の資産	679	670
固定資産合計	9,853	11,629
資産合計	19,861	23,276
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289	1,763
短期借入金	1,000	1,105
未払法人税等	73	288
役員賞与引当金	16	8
その他	1,124	1,593
流動負債合計	3,504	4,759
固定負債		
長期借入金	1,448	3,059
退職給付引当金	1,089	1,044
役員退職慰労引当金	79	45
その他	78	88
固定負債合計	2,696	4,238
負債合計	6,201	8,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	9,866	10,178
自己株式	△11	△12
株主資本合計	12,367	12,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	30
為替換算調整勘定	△40	105
その他の包括利益累計額合計	△8	135
少数株主持分	1,300	1,463
純資産合計	13,660	14,279
負債純資産合計	19,861	23,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,769	7,792
売上原価	6,538	6,093
売上総利益	1,230	1,699
販売費及び一般管理費	839	929
営業利益	391	769
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	2
還付所得税等	1	4
その他	12	6
営業外収益合計	37	14
営業外費用		
支払利息	11	11
固定資産除却損	12	36
その他	19	6
営業外費用合計	43	53
経常利益	385	730
税金等調整前四半期純利益	385	730
法人税等	148	261
少数株主損益調整前四半期純利益	236	469
少数株主利益	63	42
四半期純利益	173	427

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△1
為替換算調整勘定	△205	265
その他の包括利益合計	△214	264
四半期包括利益	22	733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51	571
少数株主に係る四半期包括利益	△29	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,439	1,733	2,529	7,702	66	7,769	—	7,769
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,439	1,733	2,529	7,702	66	7,769	—	7,769
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△116	403	308	596	13	610	△218	391

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△218百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,250	1,627	2,840	7,718	74	7,792	—	7,792
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,250	1,627	2,840	7,718	74	7,792	—	7,792
セグメント利益	72	327	655	1,055	21	1,076	△306	769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△306百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。